

一人社長の呑み会ネタ 01

「あなたじゃ話にならないね。」と名刺を投げられた…

■ 気の合う経営者さんと呑み会のときに…

気の合う経営者さんと数名での呑み会は、よくあると思います。

そのときに、過去の苦労話やちよつとした武勇伝っぽいモノを話すことが多いと思います。

（特に、男性経営者さんは）

私もそんなうちの一人なんですが、他の方はあまり経験されたことがないような呑み会ネタをシリーズにしてみます。

第一弾は、「あなたじゃ話にならないね。」と名刺を投げられた話。

■ 新卒で総務部総務課に配属。

私事で恐縮ですが、大学卒業の新卒でとある上場会社に入社しました。

一ヶ月の研修が終わって5月に配属されたのは「総務部総務課」でした。

営業、企画、経理、秘書などは学生でも何となくイメージできたのですが、「総務」と聞いても全く分かりません。

そこで配属初日に先輩に聞いてみると、回答はこうでした。

『色々とやることはあるけど、まずは6月の株主総会だね。』

■ 株主総会っていうけれど…

総務の仕事が全くイメージできない中で株主総会と言われてもさらによく分からないので、同じく先輩に業務内容（というよりも、作業内容）を聞いていると、

- ・招集通知の作成
 - ・想定問答の作成
 - ・会場の手配と当日の設営
 - ・警察官・警備の手配
- などなどが、並びます。

新人社員は、こう思います。「なんで警察官？」

■ 総会屋という職業の人がいる

もう 30 年以上も前の話ですが、90 年代には「総会屋」という人たちがいました。活動内容は様々でしたが、その中には会社の株主総会に出席して、議事の進行を邪魔するという活動をしている人がいました。

“話はちょっとそれますが、どの会社も自分の株主総会には総会屋が出席して欲しくないので、当時は一斉の日時に株主総会を開催していました。例えば、3 月決算の会社は揃って 6 月 29 日の午前 10 時からとか”

その当時は、株主総会中に本当に暴れだすという総会屋もいました。その対策として、警察官や警備会社に会場警備をお願いする業務があったわけです。

■ 株主総会でなくても会社にくる

総会屋の活動は、経済誌を発行したり企業を回ってヒアリングをしたりと様々な活動がある中で、『会社から不当な利益を得ようとする』というものがあります。

上に書いたように、株主総会で議事の進行は妨げられたくありません。そこで総会屋は「騒がれたくないでしょ…だったら…」となるわけです。そのために、会社を訪問します。

もちろん、わざわざ事前に「今から行きます」ということはなくて、不意打ちです。

受付で「〇〇と言いますが、社長にあわせてください」というように訪れます。私のいた会社では総会屋リストがあって、受付の人たちには緊張が走ります。受付からは総務にこんな内線が入ります。
「〇〇様がいらっしゃいました。0 番応接にお通しします。」

■ クライマックス、いよいよ名刺を投げられます

社長との面談を依頼されたとしても、通常はそれに応じません。また、アポがないからと断っても、何度もいらっしゃるのでそうも言いません。もちろん、〇〇様は総会屋なのでお会いしませんとも言いません。

そこで、だいたいは総務部長や総務課長クラスが対応します。
(当時はこのクラスでの総会屋対策の勉強会がありました)

総務の仕事にも慣れ始めた 3 年目くらいの総会一か月前に、とある総会屋が訪問してきました。

いつもなら上司の部長が対応するのですが、運悪くこの日は部長が不在。
課長も不在…社長は面談しない…となると、対応は私しかいない…

0番応接に入ると、やや威圧感のある方が座っています。
最初は一般的な挨拶で「名刺」を交換して着席します。
一通り会社の業績などを話していくと徐々に本題に入っていきます。

「ところで御社の定時株主総会は〇月〇日の〇時に新宿の△△でしたよね？」
→（私）いよいよきたなという感じです。

「私、委任状持ってるんで出席しようかと思うんですが」
→（私）来ない方が良いなと思っています。
「私がどんな活動しているかは知ってるよね？」（だんだん威圧的になってくる）
→（私）はい、と答えるだけです。

こういった会話を切り口にして、相手は自分がどういう人物かをひたすら続けます。
聞いている私は、余計なことを言うと後から突っ込まれるので、
ひたすら「はい」と「いいえ」だけです。

なのですが、30分位（そのときは超絶に長くて2時間くらいに感じましたが）したところで、
余計な一言を発してしまいます。

「私、3年目なので決裁権が1円もないです」
その直後にクライマックスです。
「あなたじゃ話にならないね」といって、渡した名刺を投げつけられます。

その後にデスクに戻ると他部署の先輩方に「どうだった？」と聞かれました。
私は「名刺投げて帰りましたよ」と伝えると、
「おー」という言葉と拍手をいただきました。

【作成者】
株式会社 e-Day
BIZIN & BIZIN+
mail : info@bizin.jp